

第3回
高島市民病院まつりを終えて
～身近な健康づくりを再発見!!～

昨年秋に第3回高島市民病院まつりを開催したところ、たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。

子どもたちをはじめ、皆さんの楽しそうな笑顔に職員一同感謝し、共に楽しめた事を嬉しく思います。病院は病気の時以外にも身近な存在でなければなりません。病気の早期発見のために定期的な健康診断をはじめ、出前講座や健康講座の開催、病院まつりなどを通じて、地域の身近な健康づくりの拠点となるように今後も取り組んでいきたいと思ひます。



病院まつり
アルバム

(内視鏡操作体験)



(消防車・救急車の展示)



(腹腔鏡操作体験)



(健康講座)

各体験コーナー、出店にたくさんの方にお越しいただきました。

簡単健康チェックやミニスポーツテスト、内視鏡・腹腔鏡の操作体験、また、薬剤師体験など病院ならではの体験コーナーを皆さんに楽しんでいただき、健康について、医療のお仕事について関心を持っていただきました。

模擬店の売上金 125,350 円は高島市社会福祉協議会を通じて、たかしま見守り募金に全額寄付いたしました。ありがとうございました。

高島市民病院 ☎(36) 0220

国保年金あらかると

国民年金保険料は遅れずに
きちんと納めましょう!

国民年金は、老後やもしもの時にあなたの大きな支えとなります。保険料の納め忘れが続くと老後に年金を受け取ることができなくなるばかりか、納付が遅れると障害年金や遺族年金を受け取れない場合があります。もしもの時に後悔することのないよう、保険料はきちんと納期限内に納めましょう!(納期限は翌月末で、2年経過すると時効により納められなくなります。)

国民年金保険料の納付が困難なときは

国民年金には、保険料納付が免除される制度や猶予される制度があります。納付が困難だからといってそのままにせず、必ず市役所保険年金課または各支所で手続きを行ってください。

納付が困難なときは【保険料免除制度】

経済的な理由などで、保険料を納めることが困難な時に利用できます。申請が承認されると保険料納付の全額または一部(4分の3、2分の1、4分の1)が免除されます。保険料免除は、本人と配偶者、世帯主の前年所得が一定額以下であれば承認されます。

30歳未満の方は【若年者納付猶予制度】

本人が30歳未満であるときに限って利用できます。申請が承認されると保険料の全額についての納付が猶予されます。納付猶予は本人と配偶者の前年所得が一定額以下であれば、世帯主の前年所得にかかわらず承認されます。

学生の方は【学生納付特例制度】

本人が学生であるときに限って利用できます。申請が承認されると保険料の全額について納付が猶予されます。学生納付特例は、本人の前年の所得が一定額以下であれば、配偶者や世帯主の前年の所得にかかわらず承認されます。

★ 保険料免除などの承認された期間(多段階免除承認期間において一部納付がない期間は除かれます。)は、老後に年金を受け取るための資格期間に含まれるだけでなく、万一の時に、障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取る資格期間にも含まれます。また、失業された方は、離職票や雇用保険受給資格者証等を添付すれば、前年の所得に関係なく免除される特例もありますので、必ずご相談ください。

☎ 保険年金課 ☎(25) 8137
☎ 大津年金事務所 ☎077 (521) 1789

すてきな作品をお待ちしています!

郵便またはEメールで、投稿者氏名・住所・電話番号を書き添えて投稿してください。作品は未発表のもので、応募は一人1点とし、作品や氏名には必ずふりがなをお願いします。

なお、Eメールで投稿する場合は、漢字の直後に()書きで読みがなを記入してください。

★市民の方が対象です。応募数が多い場合は選考をさせていただきます。

▼投稿先

郵便→ 〒520-1592 高島市新旭町北畑 565 番地
高島市秘書広報課あて

メール→ hishokoho@city.takashima.lg.jp

▼次回締切

1月25日(月)必着

▼掲載月

3月号



朝の風 我は海の子 滋賀の里
夢に見る 松茸飯の 母の味
渡り鳥 琵琶湖の湖面 帯つくる
除夜の鐘 払いて落ちぬ 欲の煤
年始め おかげさまでと 手を合わす
木枯らしの 去りて銀杏 道覆ふ
汚染ゴミ 行き先つかず 雪のした
新年も 元気で歩も 初日の出
年の瀬や 病癒えしと 菓子届く
通学路 黄の旗持ちて 孫笑顔
ためらいを いくつ重ねて 貼る切手
鯉の稚魚 優雅に泳ぐ すばらしさ
柿葉 秋の彩り 風物誌
キラキラと ダイアの様な 朝の露
家康も 恐れし真田の 六文銭
秋晴に 杖つれて食す 牛負けた
万引犯 意外に多い 高齢者
夢追いつ グランドゴルフ 金メダル
一面に 蕎麦の花咲く 秋日和
路地の雪 ふた掻きみ掻き 初仕事
野紺菊 うねり煽られ 風やさし
友と出会う 知ったかぶりな 誰だったの
笑う栗 だんまり栗あり マキノ園
文化祭 目に栄養入れ 脳活動
新成人 門出を称え 祝福を
祝詞聞く 赤兎に幸あれ 宮参り
深まりし にしき折りなす 秋の山
淵れ川に 夢打つ杭の ひびきなり
寒い夜は ぶり大根で ひとり酒
フェスティバル 作品鑑賞 文化の日
ささやかな 希望を指し 初詣
登校する 学童の声 さわやかに
休肝の 翌日酒の 旨さかな
初売りで 爆買したが 金とぼし
天狗湯に 友と温もり 夢如し
ひと工夫 おしゃれ楽し ハイポーズ
トラブルが 無ければいいが マイナンバー
今一度 自分を見つめ 再始動
曙は 鯨にただよふ いざさ船

中崎 徳子 朽・桑原
川端 昭子 マ・高木浜
北原 宏 今・今津
北川 国重 安・青柳
中河 仁子 今・今津
伊庭 健博 新・深溝
久保 俊明 高・拝戸
小谷 忠雄 マ・西浜
白井やよい 高・宮野
曾根ケイ子 新・饗庭
丸岡亜希子 新・藁園
山本 忍 高・高島
山本 京子 高・高島
池田よし枝 今・今津
久米 良彦 新・太田
沢井 美代 朽・岩瀬
田谷多見雄 安・南古賀
松田 節子 新・新庄
山本 節子 今・南新保
山本喜代治 安・長尾
山本美智子 マ・新保
伊丹 孝子 高・勝野
駒井 賢次 安・北船木
高岡ふじ江 マ・小荒路
寺田 義輝 マ・西浜
橋本 重生 今・今津
益本さつき マ・沢
吉川 明 安・北船木
奥津とし江 安・川島
坂口その江 マ・知内
進士 良治 新・太田
添田富美子 安・常磐木
西川五三郎 高・高島
梅村 保次 安・四津川
駒井 重雄 安・北船木
頃常 芳子 今・今津
穴井 義夫 今・梅原
穴井由香里 今・梅原
宇井 増男 高・武曾横山

神社道 紅葉舞い散り 冬真近
「気力で」と 背中押される すずき原
さわやかに 肌さす風や 初春うらら
優良賞 広報高島誌 むくわれて
真黒な 霞寶も下ろし 秋の暮
思うこと 数々あるが 先ず感謝
足腰を 病みて注射が くせとなり
古里の 宮を色どる 紅葉かな
忘年会 歌ひはしゃいで 酒も歌う
鐘の音と つるべ落し 秋のくれ
五郎丸 忍法? 魔法? あのポーズ
区の集会 男料理の 芋うまし
出揃った 作る苦勞の 品評会
照り映える 錦秋の里 山!湖!空!
又会おう 何年越しの 賀状かな
老いた姉 割引き電話 今朝も鳴る
唄歌い 心満ちたる 月の夜
解体の 燃糸機感謝 清め酒
降りやまず ソメイヨシノに 雪、希
月一度 みんなの体操 待ち遠し
冬来る 身を安じてくれる 遠方の孫
儉安の 夢醒めやらす 早や八十路
鐘の音も とぎれとぎれて 秋時雨
鍋囲む 家族の絆 より固く
古人は言う 誠に勝る 仕事なし
新年を 祝う雑煮に 無病祈る
さくら草 元気に咲いて 苗植える
今夜なべ やさいコーナーで? 手が出ない
健康が 宝と論し ゴルフ行く
サザンカの ちりし木の下 花ザブトン
初詣で 雪の階 ゆっくりりと
三姉弟 米寿に卒寿 ほど白寿
倍増の ふるさと納税 ありがとう
待ちわびて 願ひ叶えし 善光寺
ほけまいと クロスワードで 頭を使う
銀杏の黄に 真紅の紅葉が 照り映えて
新しき 旭迎えて 朝が来た

山美智子 朽・麻生
岡田 芳子 マ・沢
松本せつ子 マ・海津
渡辺 幸江 新・深溝
鞍田 作枝 新・饗庭
福井 良 安・西万木
河原田 勝 今・岸脇
北坂 修 高・武曾横山
平井 ちく 朽・大野
和田阿也子 新・旭
金村 玉子 マ・蛭川
小和田富枝 新・旭
上田 えみ マ・浦
太田 和美 マ・蛭川
墨友 光代 今・上弘部
高澤 芳枝 今・松陽台
早田 弘子 今・今津
上原すみ江 新・太田
枝 常信 安・川島
木村ふさ子 新・太田
霜降 里子 新・藁園
西 晴明 高・鴨川平
西 美津子 高・鴨川平
本城 和枝 新・太田
枝 きぬ枝 安・常磐木
田中せつ子 高・勝野
足立 幸子 新・熊野本
上原 三芳 新・深溝
岡田 明子 新・安井川
木津 みね 高・拝戸
日浅 優子 新・太田
八木 宏 高・鴨
川尻 耕生 今・松陽台
野田 敏子 新・旭
森本 幸枝 今・梅原
井保 孝夫 安・西万木
澤辺みさを 新・藁園
中内 保男 新・針江